

バブースモによる加齢黄斑変性の治療をされている
患者さんのための定期情報誌

Viewtiful Life

【ビューティフルライフ】

スタート号



"Mt.Kuruhi.(view from Hachijou rock.) Hyogo" ©rikky_photography(Licensed under CC BY 4.0) <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>

CONTENTS

- 教えて先生！～なんでも相談室～
.....
- 患者さん・ご家族のための周辺情報
.....
- ロービジョンお役立ち情報
.....
- ご自宅で見え方チェック

総合監修

五味 文先生

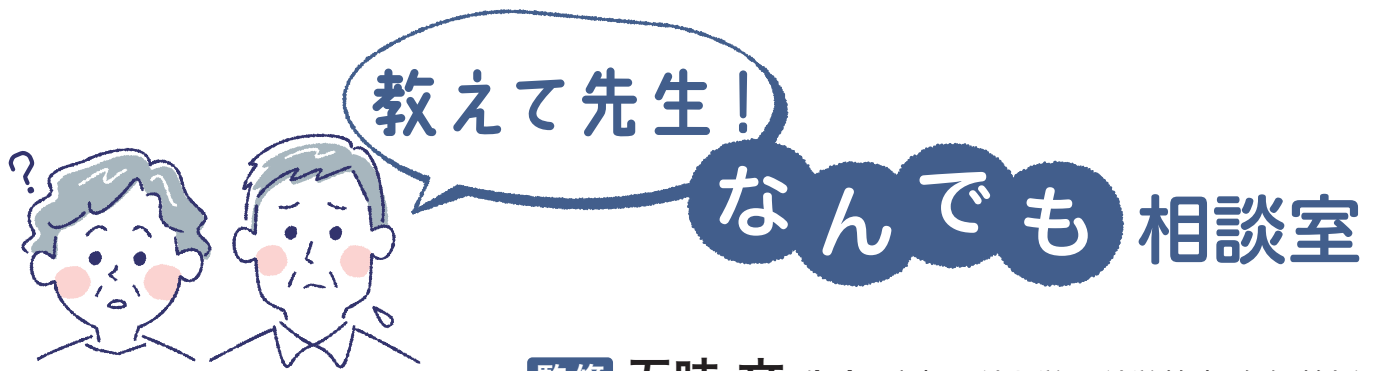
兵庫医科大学眼科学教室 主任教授

すべての革新は患者さんのために



中外製薬

Roche ロシュグループ



監修 五味文先生 兵庫医科大学眼科学教室 主任教授

Q1

加齢黄斑変性とはどのような病気ですか？

眼の奥には「網膜」という神経でできた膜があり、ここで視覚の情報を認識しています。網膜の中心部にあって、ものの形や色、大きさなどを見分けるために特に重要な「黄斑」と呼ばれる部分が、加齢によって障害されるのが加齢黄斑変性です(図1)。日本では50歳以上の80人に1人の割合で見られると報告されています¹⁾。

加齢黄斑変性には、血管が壊れて血液が漏れ出ることによって出血や浮腫が起こる「^{しんしゅつ}滲出型」と黄斑の変形・萎縮によって起こる「^{いしゅく}萎縮型」の2種類があり、日本人の多くが滲出型です²⁾(図2)。

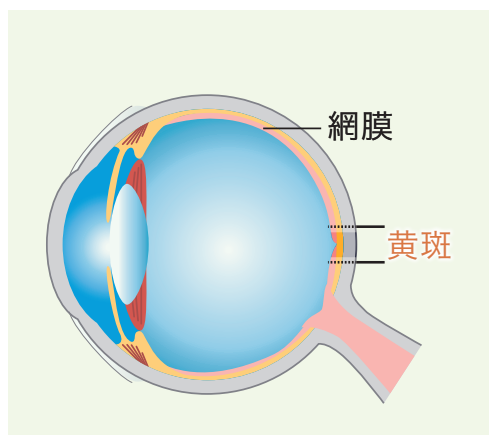


図1 眼球の断面図

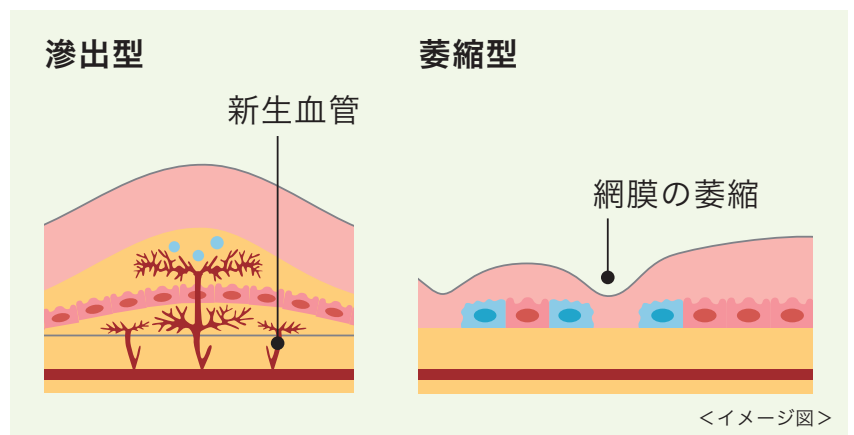


図2 加齢黄斑変性の種類：
滲出型と萎縮型

症状としては視野のゆがみや視力低下、色覚異常(色が他の大勢の人とは違ったように見えてしまう)などがあります。発症のリスクとしては遺伝や喫煙、肥満、紫外線、高血圧などが知られていて、発症や進行を防ぐためにはこれらのリスクを避けることが大切です。

1) Yasuda M, et al. Ophthalmology. 2009; 116: 2135-40.

2) 安田美穂. あたらしい眼科. 2009; 26: 25-30.

Q2

加齢黄斑変性は治療することで治りますか？

滲出型加齢黄斑変性の場合、早期に発見して治療を開始することで視力の低下を抑えられる可能性があります。ただし、いったん症状の進行がゆるやかになったとしても、また急に悪くなることもあるので、油断はできません。病状に合わせて治療を継続することによって視力を守っていくことが、加齢黄斑変性の治療の目標です(図3)。

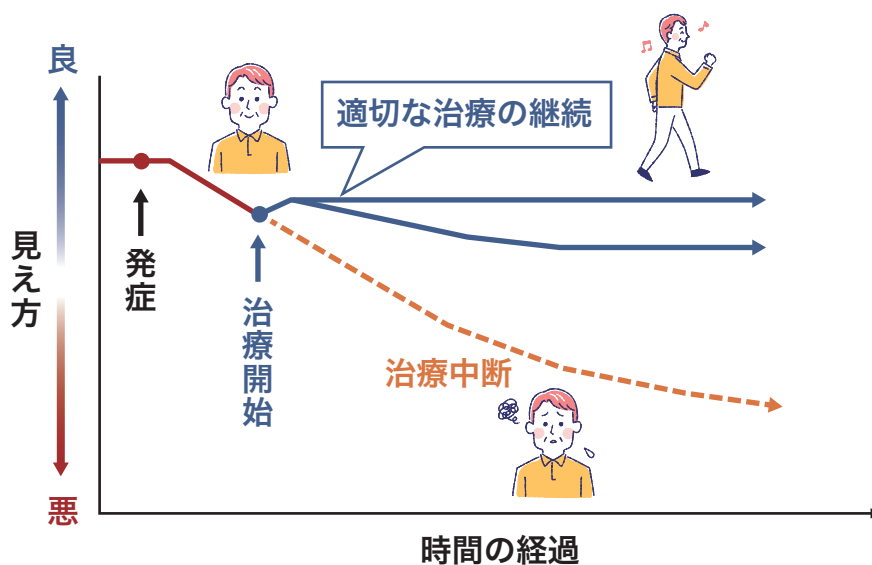


図3 見え方の経過イメージ